平成22年度化学物質管理目標等報告の概要

県では、人の健康や動植物の生息、生育に影響を及ぼすおそれのある 354 種類の化学物質について、環境への排出量を削減するため、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」（以下「条例」といいます。）第 42 条に基づき、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下「化管法」といいます。）の届出対象事業者に対して化学物質の管理目標の設定とその達成状況等の報告を求めています。

このたび、平成22年度に事業者から報告があった管理目標の設定と目標の達成状況等について取りまとめましたので、お知らせします。

１　報告状況

平成22年度、条例第42条に基づき、県域※１全体で724事業所（前年度832事業所）から、化学物質の取扱量※2及び管理目標、その達成状況について報告がありました（図１）。

なお、報告事業所のうち、32 事業所は化管法届出対象外となったため、目標の達成状況のみの報告となっています。

※１　条例の適用外である横浜市、川崎市及び条例の権限を移譲している相模原市を除いた地域をいいます（PRTR 届出者数：756 事業所）。

※２　取扱量とは使用量と製造量の和をいいます。

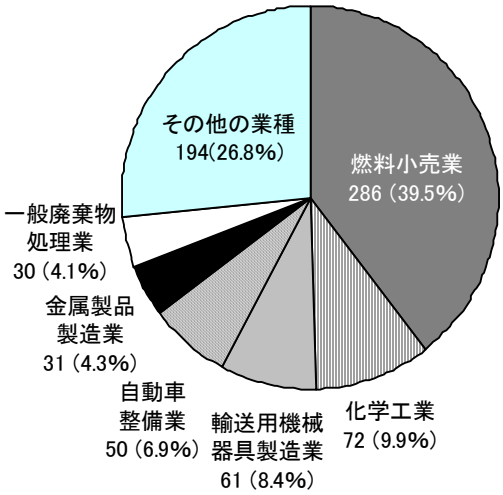


図１　業種別報告事業所数

２　化学物質の取扱い状況

条例に基づく化学物質の取扱量等の報告、化管法に基づく環境への排出量、下水道等への移動量の届出を、条例に基づく報告事業所（化管法の届出対象外の事業所を除く。）について集計したところ、平成21年度の県域における化学物質の取扱量203,438トンのうち、製品などとして195,306トン（96.0%）が使用され、環境への排出量は3,207トン（1.6%）でした（図２）。

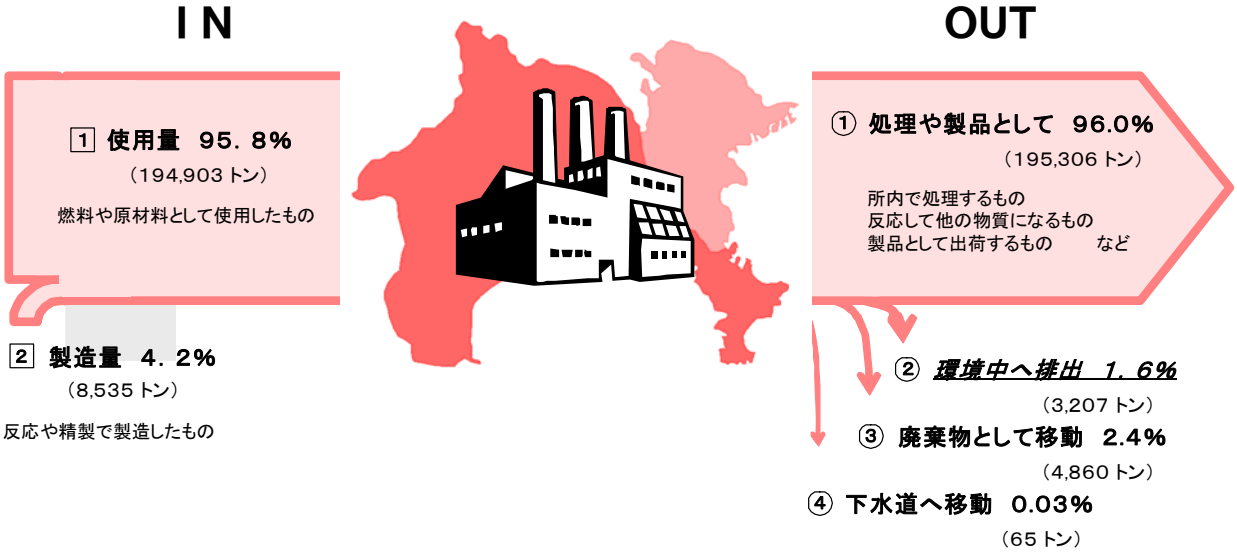


図２　県域における化学物質の取扱い状況

３　平成21年度の化学物質管理目標の達成状況と平成22年度の目標

(1) 排出量

平成21年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成20年度の排出量から32トン削減するという目標が設定されていましたが、実績※３として1,452トン削減されましたので、目標を達成しました（図３）。

また、平成 22 年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成 21 年度の排出量から 60 トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成 22 年度の排出量は 3,147 トンとなり、平成 21 年度と比較して 1.86%削減されることとなります　（図３）。

※３　削減実績は化管法届出排出量を条例 42 条の報告を行った事業所について集計した値を用いています（以下同じ。）。

※４　平成 20 年度実績は 5,258 トンでしたが、平成 21 年度目標と平成 21 年度実績を比較する際には、相模原市内の事業所からの排出量を除いた 4,659 トンを使用して、削減量等を算出しています。なお、平成 22 年度より条例第 42 条に基づく事務の権限が相模原市に移譲されたため、平成 21 年度目標以降は、全て相模原市内の事業所からの排出量を含んでいません。

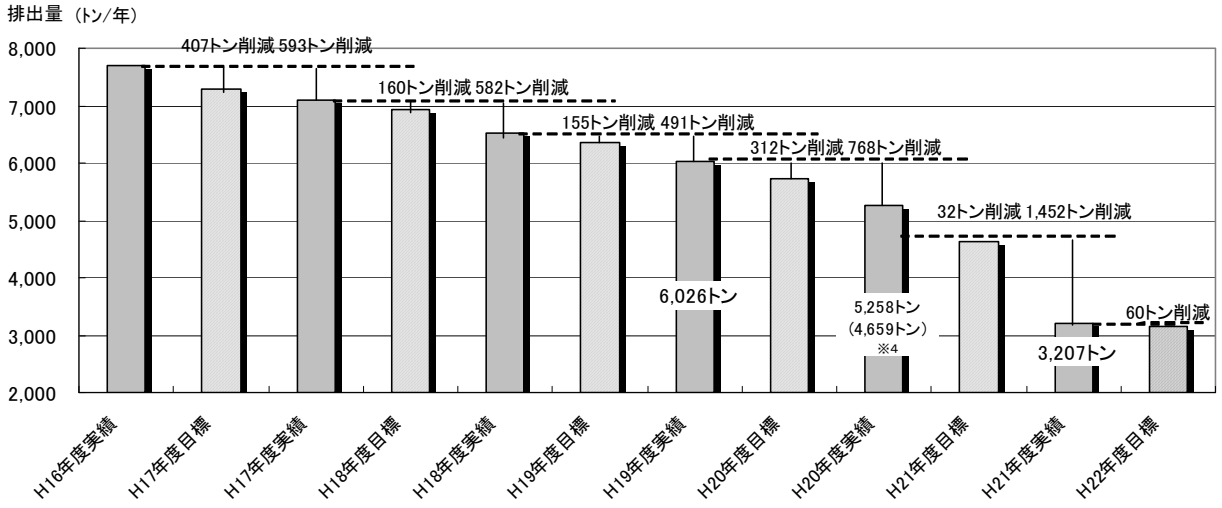


図３　排出量の削減目標と実績

(2) 使用量

平成 21 年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成 20 年の使用量から 304 トン削減するという目標が設定されていましたが、実績※5として 23,501 トン削減されましたので、目標を達成しました（図４）。一方、取扱量※6は、平成 20 年度と比較して 20,649 トン削減されました。

また、平成 22 年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成 21 年度の使用量から 248 トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成 22 年度の使用量は 194,654 トンとなり、平成 21 年度と比較して 0.13%削減されることとなります（図４）。

※５　平成 20 年度実績は 243,287 トンでしたが、平成 21 年度目標と平成 21 年度実績を比較する際には、相模原市内の事業所の使用量を除いた 218,403 トンを使用して、削減量等を算出しています。なお、平成 22 年度より条例第 42 条に基づく事務の権限が相模原市に移譲されたため、平成 21 年度目標以降は、全て相模原市内の事業所の使用量を含んでいません。

※６　平成 20 年度の取扱量は 248,984 トンですが、平成 21 年度の取扱量と比較する際は、相模原市内の事業所の取扱量を除いた 224,087 トンを使用しています。

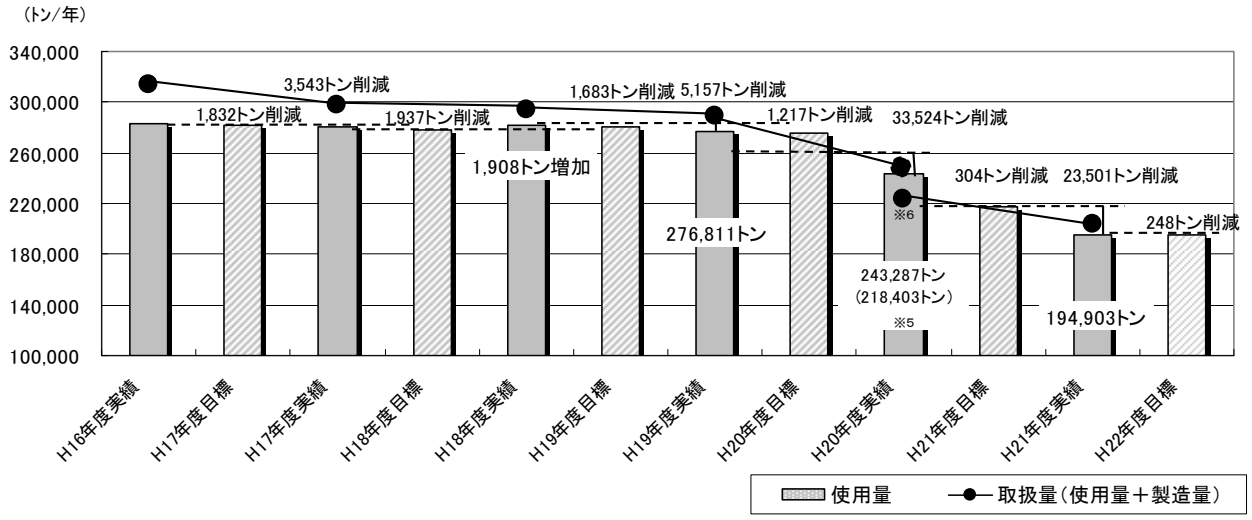


図４　使用量の削減目標と実績

(3) 業種別の管理目標について

ア　排出量

業種別の平成 21 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、ゴム製品製造業、輸送用機械器具製造業及び化学工業は目標を達成しましたが、非鉄金属製造業は目標を達成しませんでした。

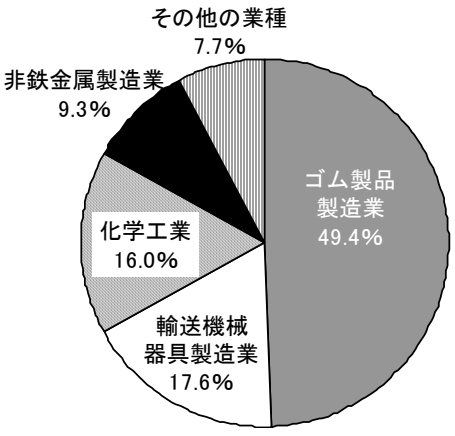
平成 22 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きいゴム製品製造業（50 トン削減）、輸送用機械器具製造業（3 トン削減）及び非鉄金属製造業（3 トン削減）の３業種で削減目標全体の 93%を占めています。

平成21年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

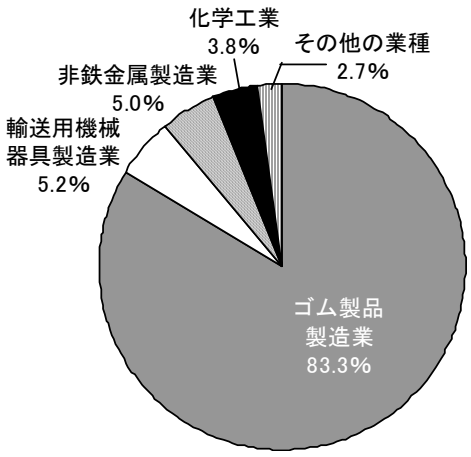
業種名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
① ゴム製品製造業	16トン／年	95トン／年	達　成
② 輸送用機械器具製造業	6トン／年	1,149トン／年	達　成
③ 化学工業	5トン／年	211トン／年	達　成
④ 非鉄金属製造業	3トン／年	-1トン／年	非達成
● その他の業種	2トン／年	-2トン／年	非達成
● 全業種計	32トン／年	1,452トン／年	達　成

平成22年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

業種名	H22削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H21排出量(実績)	H22排出量(目標)
① ゴム製品製造業	50トン／年	393トン／年	343トン／年
② 輸送用機械器具製造業	3トン／年	1,673トン／年	1670トン／年
③ 非鉄金属製造業	3トン／年	70トン／年	67トン／年
④ 化学工業	2トン／年	227トン／年	225トン／年
● その他の業種	2トン／年	844トン／年	842トン／年
● 全業種計	60トン／年	3,207トン／年	3,147トン／年



業種別排出量削減目標の割合
（平成 21 年度）



業種別排出量削減目標の割合
（平成 22 年度）

イ　使用量

業種別の平成 21 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、化学工業をはじめ削減目標の上位の業種は目標を達成しました。

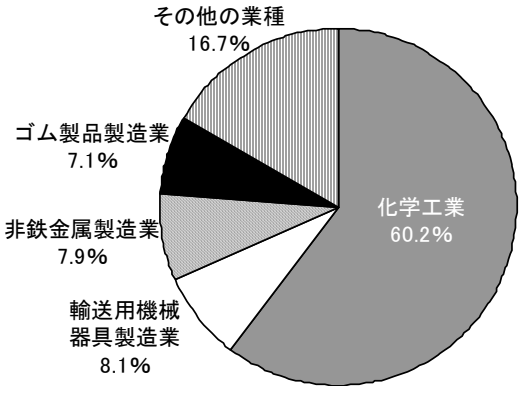
平成 22 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい化学工業（201 トン削減）、出版・印刷・同関連産業（10 トン削減）及び金属製品製造業（10 トン削減）の３業種で削減目標全体の 89%を占めています。

平成21年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

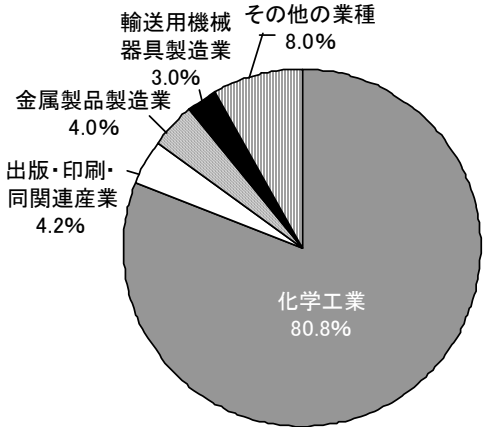
業種名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
① 化学工業	183トン／年	9,284トン／年	達　成
② 輸送用機械器具製造業	25トン／年	2,510トン／年	達　成
③ 非鉄金属製造業	24トン／年	253トン／年	達　成
④ ゴム製品製造業	22トン／年	1,033トン／年	達　成
● その他の業種	50トン／年	10,421トン／年	達　成
● 全業種計	304トン／年	23,501トン／年	達　成

平成22年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

業種名	H22削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H21使用量(実績)	H22使用量(目標)
① 化学工業	201トン／年	62,914トン／年	62,714トン／年
② 出版・印刷・同関連産業	10トン／年	136トン／年	126トン／年
③ 金属製品製造業	10トン／年	1,962トン／年	1,952トン／年
④ 輸送用機械器具製造業	7トン／年	7,551トン／年	7,543トン／年
● その他の業種	20トン／年	122,340トン／年	122,319トン／年
● 全業種計	248トン／年	194,903トン／年	194,654トン／年



業種別使用量削減目標の割合
（平成 21 年度）



業種別使用量削減目標の割合
（平成 22 年度）

(4) 物質別の管理目標について

ア　排出量

物質別の平成 21 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については合成原料、溶剤、塗料などとして使用されるトルエン及びキシレンは目標を達成しましたが、溶剤として使用されるｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ、洗浄剤や溶剤などとして使用されるトリクロロエチレンは目標を達成しませんでした。

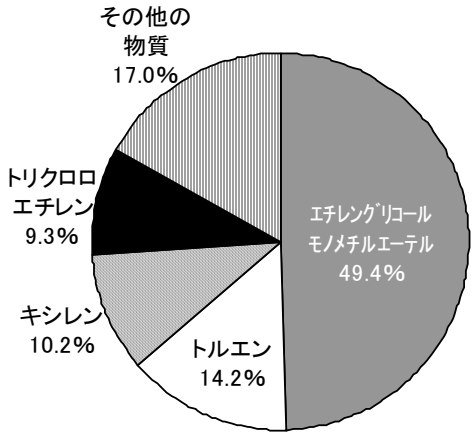
平成 22 年度の目標の設定状況については、トルエン（52 トン削減）、トリクロロエチレン（3 トン削減）及び合成原料や塗料として使用されるエチルベンゼン（2 トン削減）の３物質で削減目標全体の 95%を占めています。

平成21年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

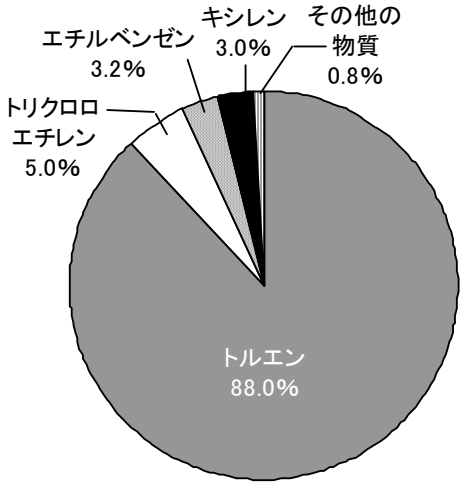
物質名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
① ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	16トン／年	-3トン／年	非達成
② トルエン	5トン／年	577トン／年	達　成
③ キシレン	3トン／年	380トン／年	達　成
④ トリクロロエチレン	3トン／年	-1トン／年	非達成
● その他の物質	5トン／年	499トン／年	達　成
● 全物質計	32トン／年	1,452トン／年	達　成

平成22年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

物質名	H22削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H21排出量(実績)	H22排出量(目標)
① トルエン	52トン／年	1,304トン／年	1,252トン／年
② トリクロロエチレン	3トン／年	24トン／年	21トン／年
③ エチルベンゼン	2トン／年	322トン／年	320トン／年
④ キシレン	1トン／年	1,051トン／年	1050トン／年
● その他の物質	2トン／年	506トン／年	504トン／年
● 全物質計	60トン／年	3,207トン／年	3,147トン／年



物質別排出量削減目標の割合
（平成 21 年度）



物質別排出量削減目標の割合
（平成 22 年度）

イ　使用量

物質別の平成 21 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、洗浄剤や溶剤として使用されるトルエン、塩化メチレン及びキシレンは目標を達成しましたが、塗料の添加剤などとして使用される有機スズ化合物は目標を達成しませんでした。

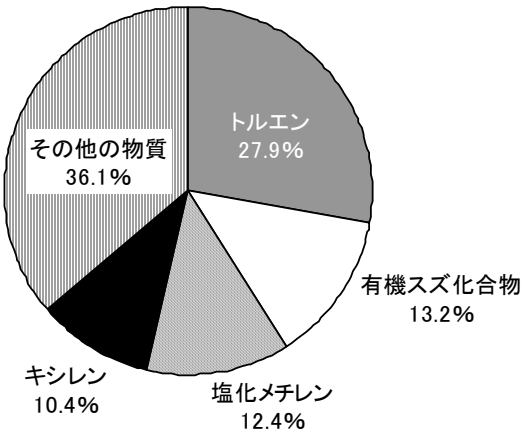
平成 22 年度の目標の設定状況については、合成樹脂や合成ゴムとして使用されるスチレン（95 トン削減）、トルエン（44 トン削減）及びキシレン（37 トン削減）といった削減目標の大きい３物質で削減目標全体の 71%を占めています。

平成21年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

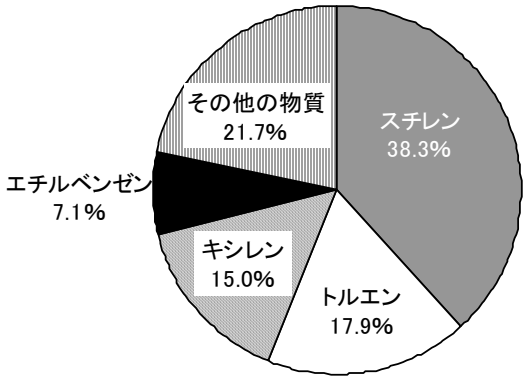
物質名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
①　トルエン	85トン／年	5,151トン／年	達　成
②　有機スズ化合物	40トン／年	-30トン／年	非達成
③　塩化メチレン	38トン／年	3,310トン／年	達　成
④　キシレン	32トン／年	2,680トン／年	達　成
●　その他の物質	109トン／年	12,390トン／年	達　成
●　全物質計	304トン／年	23,501トン／年	達　成

平成22年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

物質名	H22削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H21使用量(実績)	H22使用量(目標)
①　スチレン	95トン／年	4,292トン／年	4,197トン／年
②　トルエン	44トン／年	69,403トン／年	69,359トン／年
③　キシレン	37トン／年	42,264トン／年	42,227トン／年
④　エチルベンゼン	18トン／年	11,665トン／年	11,647トン／年
●　その他の物質	54トン／年	67,279トン／年	67,224トン／年
●　全物質計	248トン／年	194,903トン／年	194,654トン／年



物質別使用量削減目標の割合
（平成 21 年度）



物質別使用量削減目標の割合
（平成 22 年度）

(5) 用途別の管理目標について

ア　排出量

用途別の平成 21 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、「溶剤、塗料など」は目標を達成しましたが、「洗浄、界面活性剤など」は目標を達成しませんでした。

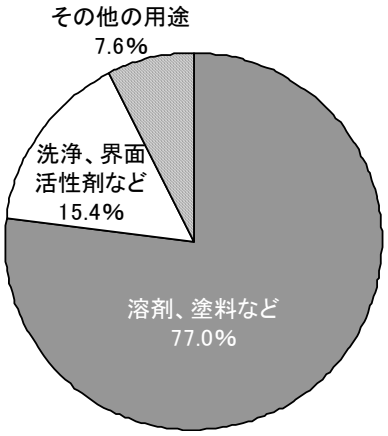
平成 22 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい「溶剤、塗料など」（55 トン削減）及び「洗浄、界面活性剤など」（4 トン削減）の２用途で削減目標全体の 98%を占めています。

平成21年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

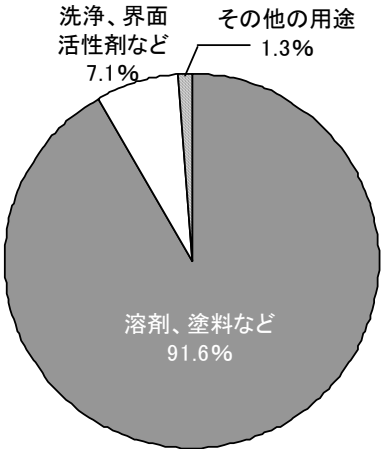
用途名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	25トン／年	1,371トン／年	達　成
② 洗浄、界面活性剤など	5トン／年	-17トン／年	非達成
● その他の用途	2トン／年	98トン／年	達　成
● 全用途計	32トン／年	1,452トン／年	達　成

平成22年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

用途名	H22削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H21排出量(実績)	H22排出量(目標)
① 溶剤、塗料など	55トン／年	2,527トン／年	2,472トン／年
② 洗浄、界面活性剤など	4トン／年	330トン／年	325トン／年
● その他の用途	1トン／年	350トン／年	350トン／年
● 全用途計	60トン／年	3,207トン／年	3,147トン／年



用途別排出量削減目標の割合
（平成 21 年度）



用途別排出量削減目標の割合
（平成 22 年度）

イ　使用量

用途別の平成 21 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、「溶剤・塗料など」、「高分子、ｺﾞﾑ、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなど」をはじめ削減目標の上位の用途は目標を達成しました。

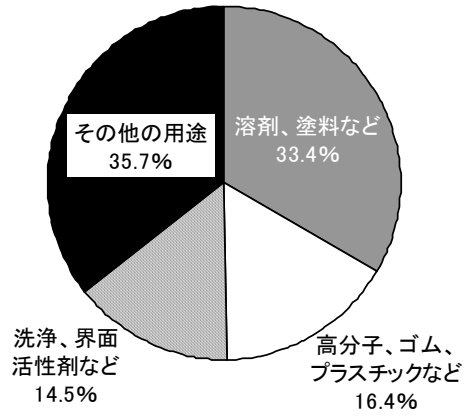
平成 22 年度の目標の設定状況については、削減目標の大きい「溶剤、塗料など」（57 トン削減）、「高分子、ｺﾞﾑ、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなど」（54 トン削減）及び「洗浄、界面活性剤など」（32 トン削減）の３用途で削減目標全体の 58%を占めています。

平成21年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

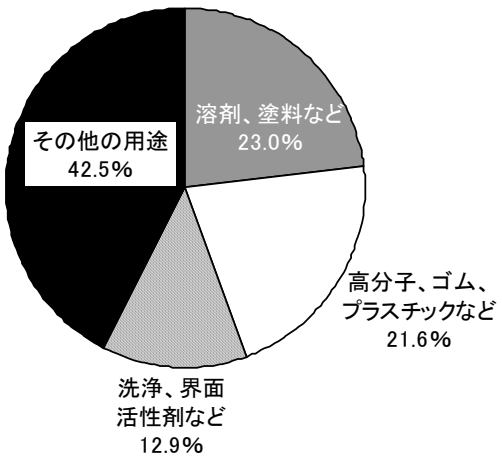
用途名	H21削減目標	H21削減実績	達成状況
① 溶剤・塗料など	102トン／年	8,133トン／年	達　成
② 高分子、ｺﾞﾑ、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなど	50トン／年	3,549トン／年	達　成
③ 洗浄、界面活性剤など	44トン／年	104トン／年	達　成
● その他の用途	108トン／年	11,715トン／年	達　成
● 全用途計	304トン／年	23,501トン／年	達　成

平成22年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

用途名	H22削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H21使用量(実績)	H22使用量(目標)
① 溶剤・塗料など	57トン／年	26,556トン／年	26,499トン／年
② 高分子、ｺﾞﾑ、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸなど	54トン／年	17,703トン／年	17,650トン／年
③ 洗浄、界面活性剤など	32トン／年	1,970トン／年	1,938トン／年
● その他の用途	105トン／年	148,674トン／年	148,567トン／年
● 全用途計	248トン／年	194,903トン／年	194,654トン／年



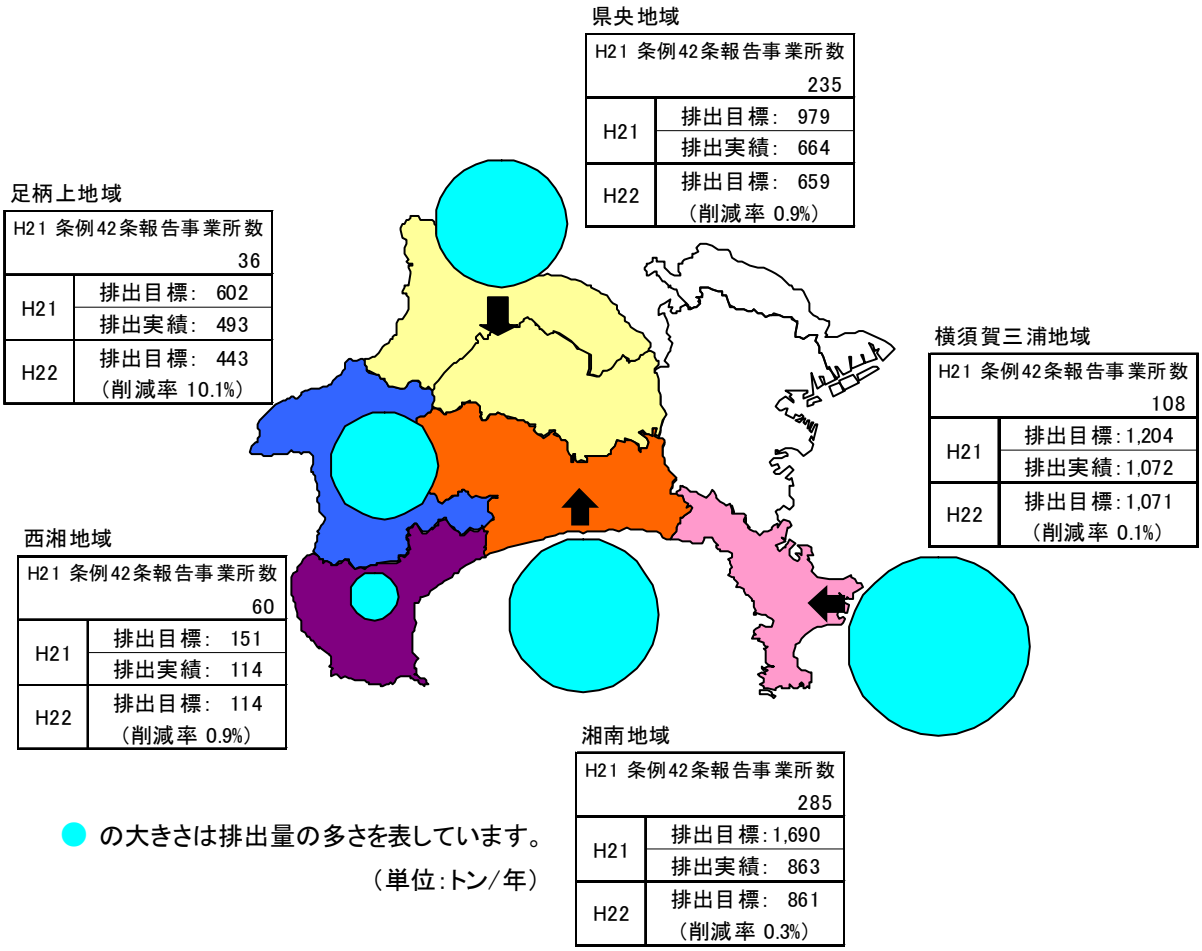
用途別使用量削減目標の割合
（平成 21 年度）



用途別使用量削減目標の割合
（平成 22 年度）

4　地域別の排出状況

地域県政総合センター所管地域別の平成21年度の排出実績及び平成22年度の排出目標などは次のとおりです。１事業所あたりの排出量が最も多い地域は足柄上地域、次に横須賀三浦地域でした。



※　図中の削減率とは、平成21年度排出実績に対して、どれだけ削減するかを割合で示したものです。また、削減率は、各地域毎の事業所から報告のあった平成22年度削減目標の集計値を、平成21年度排出実績で割った値について、少数第２位を四捨五入したものです。